

作者からのメッセージ

「戦争の中の子供達」

この2つの物語は戦争でいのちを失った子供達のお話です。あれから68年たちましたが、今も世界のどこかで多くの子供達は戦争の犠牲になっています。

子供達はあおい海やあおい空の輝きの中でカメやカニとたわむれ、サッカーボールを追いかけピッチを走りまわるのが大好きです。お父さんやお母さんはさとうきび畑や葡萄畑で働きながら元気に育てゆく子供達を慈しんでいます。

とつぜん戦争がやってきました。

あおい海に沈んでいった沖縄の子供達、

あおい空に昇っていったオラドール村の子供達は、海の底から、空の彼方から、自然の中のすべてのいのちに向かって、平和を・・・地球の未来を・・・と呼びかけています。

風が運んで来るかすかな声に、ひびき合いながら、応える人にと願っています。

道 城 借 子

『ぐるーぷ碧空』

戦争の爪あとの恐ろしさを幼い時に経験してきた『ぐるーぷ碧空』の私たちは、昨今の激しい内外の情勢を考えますと、今こそ、若い人たちへ戦争の恐ろしさを伝えていかなければならないと決意しました。

この私たちの趣旨に賛同しました道城借子氏（長年にわたり文学座で作家、演出家として活躍）が、～今 伝えたい 戦争の中の子供達～ 第1部「風よ 沖縄よ 対馬丸」 第2部「オラドール物語」の朗読劇2部作を書き下ろしました。

私たち『ぐるーぷ碧空』が、早くから平和都市宣言を採択してきた鎌倉市の皆様に、この共通した想いを歌・童謡・朗読に乗せてお届けします。



『ぐるーぷ碧空』のメンバー

牛来久美子：歌とピアノ（クラシックからコーラス、シャンソンの引き語りで活躍中）

鳥 巢 恭 子：朗読と歌（タンゴを中心に幅広く活躍）

深澤真理子：朗読（長年にわたり朗読で活躍）

演出は山口武郎氏（長年文学座で演出家として活躍）の協力を得るとともに、朗読は五森大輔、森雅美、山口晶代、山口順子、深澤想英、アコーディオンは石岡美保子でお届けします。

・・・平和都市宣言・・・

われわれは、日本国憲法を貫く平和精神に基いて、核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のために、全世界の人々と相協力してその実現を期する。多くの歴史的遺跡と文化的遺産を持つ鎌倉市は、ここに永久に平和都市であることを宣言する。

昭和33年（1958年）8月10日

・・・鎌倉平和推進実行委員会について・・・

昭和33年8月、鎌倉市は、平和都市宣言をおこないました。

この宣言は、市民有志の皆さんの請願を、市議会が全会一致で採択し、市が宣言したものです。

平成7年、市民の実行委員会により戦後50周年記念事業が行われました。

その翌年から公募による市民で構成された「鎌倉平和推進実行委員会」が発足。平和・環境・人権などをテーマとした平和推進事業を市と協働で企画・運営しています。これまでに、講演会やコンサート、映画上映会、平和バスツアーなどを催してまいりました。また、平成12年度より、申し出のあった市内の小・中学校へ「こどもたちと一緒に平和について考える授業」を出前するお手伝いもしています。

これからも、一人でも多くの市民の皆さんに参加していただける企画を心がけていきます。